

自由民主党
京都市会
議員団ニュース



平成26年(2014)6月16日発行
 ■発行人/繁 隆夫
 ■編集委員/山本恵一・さくらい泰広・棕田隆知・しまもと京司
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/

No.46

1票の格差1.29に是正

議員定数 69人 → 67人

自民議員団、活発な議論 勇気と決断!

京都
市会

上京、左京で各1減

自由民主党京都市議員団は、かねてから課題となっていた京都市11行政区における一票の格差の是正などについて、協議調整の場である市会改革推進委員会で慎重かつ活発な議論を行い、各会派代表による討論等を重ね、議員定数の是正にこぎつきました。

引き続き報酬10%カット

市会改革推進委員会で、議員定数の在り方について検討し、その結果、現

状1.53倍となっている1票の格差は是正する必要があり、1人区(1つの選挙区に議員が1人し

議員定数是正 各派の主張

自民党	4減 → 2減
共産党	3増 削減に反対
民主党	2減
公明党	2減
京都党	9減 → 4減 → 2減

かいけない状態)は避けるべきということについて、全会派の認識が一致しました。

会派からの賛同は得られませんでした。各会派の意見が分かれたままでは、1票

その後、各会派の代表で検討を行い、自由民主党京都市議員団は、昨今の社会情勢等を勘案し、4減を提案しました。ほかの

また、世界のアジアゾウの生息数は約4〜5万頭と少なく(アフリカゾウ約58万頭)絶滅の危惧があり、国内86動物園のうち、37園でアジアゾウは78頭、16園でアフリカゾウは37頭が飼育されているだけです。よってゾウは希少な野生動物の国際取引を規制するワシントン条約で「絶滅の恐れがある種」として繁殖など学術目的以外の輸出入が禁止されています。

の格差の是正が図られないことから、自由民主党京都市議員団は、**苦渋の決断**として、上京区と左京区において、各1議席を減らす、2減を提案するに至りました。

来年4月に執行される統一地方選挙の京都市議会議員選挙から適用され、定数は、69議席から67議席になります。大変厳しい現状ではありますが、勇気と決断をもって、議員自らが身を切る覚悟を新たにしています。また財政健全化のため、議員報酬も年10%カットを引き続き実施致します。

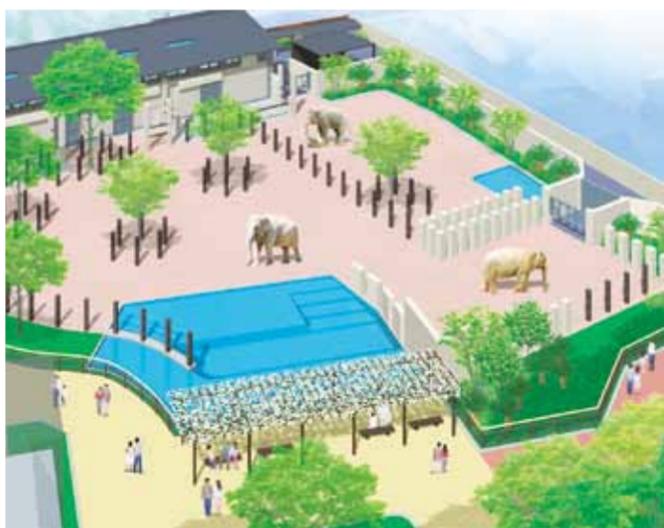
議会指摘で広さ 現在の6・1倍

京都市動物園では新たなゾウの繁殖を目指し、本来群れで暮らすゾウの飼育環境の向上のため、**自民党の指摘により当初京都市が提案していた面積よりも広く**なり、現在の約6・1倍のスペースを確保しました。これは東京都恩賜上野動物園、名古屋市東山動物園と並ぶ国内最大規模の施設になります。

おこしやす!京へ

ラオスからゾウ4頭

年内、京都市動物園に寄贈



新居「ゾウの森」完成予想図(一部)

新「京都市動物園構想」に基づいて『もうじゅうワールド』『アフリカの草原』『サルワールド』等に引き続き再整備が進められています京都市動物園において、来年3月にオープンが予定されている『ゾウの森』にラオス人民民主共和国から寄贈されるアジアゾウ4頭(メス3頭・オス1頭)の確保が決定致しました。

繁殖を目指すゾウの森



コンタクトコーナー完成予想図

京都市動物園は1903(明治36)年に開園した日本で2番目に誕生した歴史のある動物園であり、現在のゾウの飼育施設は、1923(大正12)年に開

また来園者がゾウを身近に感じられる「コンタクトコーナー」や「ふれあいコーナー」も設けられます。

第81代京都市会議長

中村三之助

平成26年5月市会定例会におきまして、歴史と伝統のある第81代京都市会議長に就任させていただきましたこととなりました。誠に身に余る光栄であり、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。近年、地方分権改革の進展に伴い、議会の役割はますます大きくなってきており、二元代表

通年議会の導入により、「行動する市会」に

制のもと、これまで以上に行政に対する監視機能や議員自らの政策形成能力の向上を図ることが求められています。こうした中、京都市会では、本年3月に「京都市会基本条例」を制定し、京都市会のありべき姿や目指すべき方向性について全議員の共通認識を図ったうえで、本年4月から「通年議会」を導入し、災害等の突発的事案や緊急性のある課題に対し、速やかな対応を

執ることのできる体制を整備するなど、「行動する議会」をキーワードに議会の権能強化に努めているところです。今後とも更なる市政発展のため、門川市長としっかりと議論をしつつ連携を図り、自民党京都市会議員団をはじめとする市会議員とともに誠心誠意全力を傾注してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

門川大作

市長(答弁)

これまで築き上げてきた京都の優れた幼児教育・保育の水準を最大限に活かし、質的向上及び量的拡大を図るとともに、保護者の皆様に安心していただけるよう、具体的なサービスの提供内容や確保の方策を定める子ども・子育て支援事業計画を策定いたします。



支援事業計画の策定が期待される保育園(伏見区の保育園で、プール遊び)

子ども健全育成 体験活動の充実

高橋泰一朗議員(質問) これまで本市で取り組んでこ

れた実践を踏まえ、教育活動のあらゆる機会を通じて、文化、産業、自然そして人など京都のまちが有する様々な財産を活用した体験活動のより一層の充実が、これからの子どもたちの健全育成のために重要と考えますが、いかがですか。 生田義久教育長(答弁) 今後、子どもたちの豊かな学びと育ちのため、学校運営協議会について、本年度中に全小学校で設置をめざし、その取組の中で、伝統文化や産業、自然など、京都ならではの豊かな教育環境を最大限に生かした体験活動の一層の充実を図り、心身共に逞しく思いやりの心溢れる子どもたちの育成に取り組めます。

大安心と大交流の時代で 府市協調の進化へ

主体性を発揮、役割担う

高橋泰一朗議員(伏見区)

高橋泰一朗議員(質問) 市長にとって、山田知事が言われる「協働のモデル」とはどのような姿であるとお考えか、また、京都市において「大安心・大交流」のマニフェストを推進される中で、本市として、どのような役割を果たしていこうとされるのか、お聞かせください。

門川大作市長(答弁) 府市

協調において重要なことは、「明確な役割分担」と「現行制

度の限界に挑戦する仕組み」であると考え、実践してきたところであり、全国に誇る府市協調を更に磨き上げて、よ

知事のマニフェスト実現の上でも、市としての主体性を発揮し、市民生活やまちづくりの現場で直接行政を行う基礎自治体しか持ち得ない経験やノウハウ、更には市民や事業者の声をしっかりと反映させ、真に市民・府民のための施策となるよう、役割を積極的に果たします。

子ども・子育て支援事業計画は

高橋泰一朗議員(質問) い

わゆる「子ども・子育て支援事業計画」は、どのような計

路上客引き行為に対策を

市条例制定も視野 秋までに具体策目指す

加藤盛司議員(中京区)

加藤盛司議員(質問) 路上

での客引き行為は、つきまとい等の執拗な行為の場合には府の迷惑行為防止条例で対応

出ますが、声掛け程度では

注意で終わっているのが現状で

す。私も地元商店街の方々と

一緒にパトロールに同行しま

したが、去ればまた現れる、

いたちごっこです。自民党議

員団でも先行自治体である東

京都豊島区を調査しましたが

が、府の条例の規制対象の拡

加藤盛司議員の質問項目

- ・府市における二重行政解消の取組
- ・ごみ屋敷解消を目指した条例の制定
- ・路上における客引き行為禁止条例
- ・いじめ防止に向けた取組
- ・祇園祭後まつりの復興の取組

例を制定するのか、どちらにせよ一日も早く行政が立ち上

がって地元商店街と連携した取組を実施すべきです。

門川大作市長(答弁) 飲食

店等による不快な客引きにつ

いては、京都市の風格とイ

メージを大きく損なうものと

認識しており、早急に有効な

対策が必要です。今後、早期

に外部有識者等の意見を聴く

場を設け、また、豊島区の取

組等も参考にしながら、京都

府警と連携して十分に検討を

進め、市条例の制定も含めた

具体的な対応策をこの秋には

お示しできるよう、スピード

感を持って取り組めます。

(加藤議員質疑3面に続く)

5月 月
定例会市会
(5月21日)

代表質問



三条通を巡行する後祭の浄妙山（明治38年高倉通付近、資料）

今後の産業廃棄物対策は

最終処分場の確保

国、自治体、民間と連携

山元あき議員（右京区）

山元あき議員（質問） 全国どの地域においても最終処分場の容量についての不安が顕著になってきているなか、一般廃棄物をはるかに上回る大量の産業廃棄物の減量化をどのように進めていくのか、市内域で発生する産業廃棄物の発生量やその処理についての現状をどのように把握され、今後どのような方針で

取り組んでいくおつもりなのか、お答え下さい。

塚本稔副市長（答弁） 今年度は市内の産業廃棄物の処理状況等を実態調査することとしており、その結果を踏まえ、来年度には処理指設計画の見直しを行ってまいります。一方、産業廃棄物の発生量が一般廃棄物の約8倍にも上るため、全国的に最終処分場の残容量が逼迫しており、とりわけ本市を含めた大都市では最終処分場の確保に苦慮し

祇園祭 後祭復興に期待

（2面から続き）

加藤盛司議員（質問） 祇園祭は交通渋滞の緩和等を目的に、巡行経路の変更や前祭と後祭の合同化が実施されましたが、山鉾連合会理事長に吉田孝次郎氏が就任され、後祭の復興の議論を呼びかけられたところ、150年ぶりに復帰する大船鉾と併せ、門川市長も全面支援され、本来の祇園祭の姿に戻ることに期待しました。

後祭は前祭に比べ落ち着いた祭であると言われますが、夏休みに入った直後の祭でもありますので、親子で一緒にゆつくりと楽しめる利点があり、大船鉾の復帰と合わせて新たな観光資源とも言えます。7月1日の吉符入りまであまり時間がなく、出来ることも限られますが、後祭復興の更なる取組についてお答えください。

藤田裕之副市長（答弁） 前

祭とは違った風情の後祭を多くの皆様に知っていただくため、市民しんぶん特集号の発行や、旅行者等とも連携した全国主要駅や雑誌等における幅広いPRをすることもに、お囃子体験や宵山スタンプリー等、親子が一緒に楽しめる取組を進めております。我が国を代表する祭である祇園祭を通じ、京都の地域に息づく祭りや伝統行事の大切さを再認識し、将来にしっかりと引き継ぐとともに、伝統産業や商店街などの商業振興にもつなげて参ります。

山元あき議員の質問項目

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催を契機にした中高生に対する競技スポーツ施策の充実
- ・地域水道事業の今後
- ・産業廃棄物の処理問題
- ・小中学校の体育館整備

ております。今後、更に減量・リサイクルを推し進め、埋立処分量の一層の削減を図るとともに、中長期的な最終処分場の不足に対応するため、広域的な観点から、国や近畿の自治体、民間事業者との連携

防災機能強化の学校体育館整備

山元あき議員（質問） 太秦



さらなる安心安全な整備が望まれる小学校体育館（太秦小）

市の学校体育館は昭和40年代に建築されたものが多く、平成35年には築40年を経過する施設が100棟を超えることから、老朽化対策と防災機能の強化に向け学校体育館の改築及

により、最終処分場の安定確保に努めてまいります。小学校の体育館整備事業の計画や整備内容、また、今後の全市における防災機能強化型の体育館整備についての取組方針をお答え下さい。

生田義久教育長（答弁） 本

市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

自民党議員団の所属委員会

市会改革推進委員会	常任委員会					市会運営委	特別委員会			
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水道消防		予算 決算			
委員長 寺田かずひろ			田中 明秀		山元 あき	加藤 盛司	津田 大三			
副委員長	椋田 隆知	しまもと京司		さくらい泰広			①下村あきら	②中川 一雄	③	
自民党	加藤 盛司	井上与一郎	香川佐代子	加藤 盛司	大西 均	津田 大三	加藤 盛司	井上与一郎	香川佐代子	大西 均
	田中 明秀	内海 貴夫	繁 隆夫	高橋泰一朗	小林 正明	富 きくお	さくらい泰広	内海 貴夫	加藤 盛司	さくらい泰広
	津田 大三	中村三之助	しまもと京司	田中 明秀	さくらい泰広	橋村 芳和	しまもと京司	繁 隆夫	小林 正明	高橋泰一朗
	寺田かずひろ	西村 義直	吉井あきら	寺田かずひろ	下村あきら	山元 あき	椋田 隆知	しまもと京司	田中 明秀	津田 大三
	富 きくお	椋田 隆知		山本 恵一	中川 一雄		山本 恵一	下村あきら	寺田かずひろ	富 きくお
	山本 恵一						吉井あきら	西村 義直	中川 一雄	中村三之助
吉井あきら							椋田 隆知	山元 あき	橋村 芳和	
							吉井あきら	山本 恵一		

政策委員長	西村 義直			
監査委員	小林 正明			
都市計画審議会委員	大西 均	加藤 盛司	小林 正明	中川 一雄
人権擁護委員	下村あきら	田中 明秀	山本 恵一	
関西広域連合議員	井上与一郎			

*市会運営委員会の加藤盛司、吉井あきは理事
*予算決算特別委員会の副委員長欄の○内数字は分科会

「常任委員会の議論と取組」4面に特集

び全面リニューアル事業を一年度から実施しております。整備内容と致しましては、全面改築やリニューアルに併せて、蓄電池付太陽光発電機を設置し、災害時の電源を確保するとともに、外壁等の断熱化を行い、館内の温度環境の改善を図るほか、市内産木

材の積極的な活用、LED照明化等、環境にも最大限配慮した計画としております。本年度から改築に向けての事業に着手し、大規模校である現状を踏まえた敷地の有効活用も検討しながら、平成28年度末完成を目指す計画であります。

自由民主党京都市議員団

経済総務委員会

経済総務委員会では、市民生活に直結する地域経済や、中小企業や農林業をはじめとする地場産業、また、京都の顔である観光、さらには京都市全体の行財政や市有財産の活用等、部局を横断する総合企画について議論しています。



くらし環境委員会

くらし環境委員会では、私たちの生活に直結する区役所行政全般や、市民生活の安心安全の向上、文化・スポーツのさらなる振興に加えて、全社会的な環境・エネルギー問題やゴミの減量・有効活用など、文化首都京都市としてよりよい市民生活のために全力活動しています。



皆さんのご意見や
ご要望をお寄せ下さい。

自由民主党
京都市議員団

〒604-8571
京都市中京区
河原町御池

jimin3@nifty.com
FAX.257-3091

氏名の○は委員長
○は副委員長

常任委員会の議論と取組

教育福祉委員会

教育福祉委員会では、待機児童解消を目指した保育所整備や子育て支援、高齢者や障害者福祉、生活保護の適正化について、また子どもたちが安心して学べる教育環境の充実、児童・生徒の健全育成、「いじめ」の根絶に向けて議論しています。



まちづくり委員会

都市計画局と建設局を所管するまちづくり委員会では、都市格向上のための「歴史的街並保全」、「公共交通と歩行者優先のまちづくり」、「空き家対策」、また市民の命、安心、安全を守るための「公共事業の推進」などについて様々な角度から議論しております。



交通水道消防委員会

交通水道委員会では、市バスICカードシステムの導入・普及啓発、地下鉄の乗客・安全対策、塩小路幹線・山科三条雨水幹線などの浸水対策、四条消防出張所移転整備等、消防体制の充実について議論してまいります。



市の各種委員会は、常任委員会のほかに**市会運営委員会**（市会内部の連絡交渉、その他の議事運営）、**市会改革推進委員会**（監視機能の強化、政策立案機能の充実と市民に開かれた市の推進）、及び**予算・決算特別委員会**が設置されています。

なお、議会閉会中の常任委員会は、毎月第2、4週を基本に経済総務委員会を月曜、くらし環境委員会を火曜、教育福祉委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、交通水道消防委員会を金曜に開会しています。